

令和8年4月3日  
厚生労働省政策統括官付参事官付世帯統計室

第13回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の結果の訂正について

21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の第13回（令和6年）調査結果の集計客体数に誤りがあったため、数値を訂正しました。

利用者の皆様にはお詫びを申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。



政府統計

報道関係者 各位

令和7年 11月 28日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 菅沼

室長補佐 原口

(担当) 成年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7592)

(直通電話) 03-3595-2322

## 第13回「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」 の結果を公表します

～2012(平成24)年から2024(令和6)年まで、同一の成年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」の第13回(2024(令和6)年)の結果を取りまとめましたので公表します。

21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)は、2012(平成24)年10月末に20～29歳であった全国の男女(及びその配偶者)に対して、結婚の状況、出生の状況、就業の状況などを継続的に調査し、先に実施した21世紀成年者縦断調査(平成14年成年者)との比較対照等を行うことにより、少子化対策など行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第13回調査では、2012(平成24)年の第1回調査から協力が得られた4,513人を集計対象としており、調査対象者の年齢は32～41歳となっています。

※「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」は、第13回調査をもって終了します。

### 【調査結果のポイント】

#### 1 第1回調査時の独身者の結婚・出生の状況

第1回調査時に独身であった者のこの12年間の結婚・出生の状況をみると、男女とも「結婚した」者の割合は平成14年成年者の方が高く、「結婚した」者のうち「出生あり」の割合は平成24年成年者の方が高い。(3頁 表1)

#### 2 結婚した者の家庭観

第1回調査時に独身でこの12年間に結婚した者の第13回の家庭観(世帯の収入、家事、育児)をみると、いずれの家庭観においても「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」が最も高い。また、「世帯の収入」「家事」で「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合は第1回と比べて高くなっている。(8頁 図4)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。



政府統計

報道関係者 各位

令和7年 11月 28日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 菅沼

室長補佐 原口

(担当) 成年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7592)

(直通電話) 03-3595-2322

## 第13回「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」 の結果を公表します

～2012(平成24)年から2024(令和6)年まで、同一の成年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」の第13回(2024(令和6)年)の結果を取りまとめましたので公表します。

21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)は、2012(平成24)年10月末に20～29歳であった全国の男女(及びその配偶者)に対して、結婚の状況、出生の状況、就業の状況などを継続的に調査し、先に実施した21世紀成年者縦断調査(平成14年成年者)との比較対照等を行うことにより、少子化対策など行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第13回調査では、2012(平成24)年の第1回調査から協力が得られた4,524人を集計対象としており、調査対象者の年齢は32～41歳となっています。

※「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」は、第13回調査をもって終了します。

### 【調査結果のポイント】

#### 1 第1回調査時の独身者の結婚・出生の状況

第1回調査時に独身であった者のこの12年間の結婚・出生の状況をみると、男女とも「結婚した」者の割合は平成14年成年者の方が高く、「結婚した」者のうち「出生あり」の割合は平成24年成年者の方が高い。(3頁 表1)

#### 2 結婚した者の家庭観

第1回調査時に独身でこの12年間に結婚した者の第13回の家庭観(世帯の収入、家事、育児)をみると、いずれの家庭観においても「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」が最も高い。また、「世帯の収入」「家事」で「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合は第1回と比べて高くなっている。(8頁 図4)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。

## 第13回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の概況

### P2「調査の概要：8 結果の集計及び集計客体」

#### 【誤（令和7年11月28日公表）】

#### 8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（6,967人）のうち、第1回調査から第13回調査まで集計可能である4,513人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	3,304	2,889	1,871
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	168	153	94
女性票	4,614	4,078	2,642
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	75	62	35
計	7,918	6,967	4,513

（注）第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

#### 【正】

#### 8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（6,967人）のうち、第1回調査から第13回調査まで集計可能である4,524人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	3,304	2,889	1,871
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	168	153	94
女性票	4,614	4,078	2,653
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	75	62	37
計	7,918	6,967	4,524

（注）第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。